

ID:	=患者情報!B1		(nab-PTX+テセントリク) 療法				施行日	クール		
患者氏名	=患者情報!B2 殿						入院/外来	入力日	年	月
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7								
疾患名	乳癌			開始日	年	月	日			
クール	3	週	投与	1	週	休薬	診療科			
	備考	テセントリク Day1,15 nab-PTX Day1,8,15			医師名					
適応基準	<input checked="" type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発 <input checked="" type="checkbox"/> PDL-1陽性 <input type="checkbox"/> HER2陰性 <input checked="" type="checkbox"/> ホルモン受容体陰性			告知の有無	P S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済			
	身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00	m ²			

重要 B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

<input type="checkbox"/> HBs抗原
<input type="checkbox"/> HBs抗体
<input type="checkbox"/> HBc抗体

薬品名	単位	薬品名	単位	外来 化療 加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外	【必須】 血液製剤に関する 説明と同意書	<input type="checkbox"/> 済
アブラキサン 100 (PTX:アルブミン懸濁型)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body	テセントリク 840 (アテゾリズマブ)	<input type="checkbox"/> mg/m ² <input checked="" type="checkbox"/> mg/body				

テセントリク点滴静注840mgの規格は当院未採用薬のため「緊急医薬品使用届」の提出が必要です。

レジメン内容

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
Day1、15				
①	生理食塩液(50mL)	50mL	D.I.V	10分
②	テセントリク点滴静注 [アテゾリズマブ]	840 mg	D.I.V	1時間 ※初回投与の忍容性が良好 であれば、2回目以降は 30分まで短縮可能
	生食液(250mL)	250 mL		
③	生理食塩液(50mL)	50mL	D.I.V	10分
④	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液(100mL) ※ ※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注	100mL		
⑤	生食液(50mL)	50mL	D.I.V	全開
Day8				
④	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液(100mL) ※ ※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注	100mL		
⑤	生食液(50mL)	50mL	D.I.V	全開

血漿分画製剤で、ロット番号の記録および保存が必要!

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照
 1/バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。
 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

アブラキサンについて、インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。

注意事項など 薬剤師へ;テセントリクの混注時は必ずフィルター付きプライミングセットを使用して下さい。

1Kur目	2Kur目							確認者	監査者
Day	1	8	15	22	29	36	43	
テセントリク	↓		↓		↓		↓		
アブラキサン	↓	↓	↓		↓	↓	↓		

注意事項など

【払出し～回収まで】

- Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入+シール貼付する。 ※事前準備はしない
- 注射箋薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
- 看護部側へは、注射箋・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。
 ※注射箋には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。
 (混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
- 看護部側は投与後、注射箋にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
- 薬剤部は、実施後の注射箋が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。